かみかすや あきやまかみいせき 上粕屋・秋山上遺跡

伊勢原市No.74

調査期間 2017年4月1日~継続中

所 在 地 伊勢原市上粕屋

時 代 近世、中世、奈良・平安、縄文、

旧石器

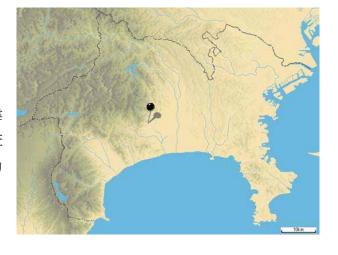
調査原因 国土交通省による厚木秦野道路建

設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅の北西約

3 kmの上粕屋扇状地扇央部に位置

する。



主な調査成果

本調査地は、市道 87 号線の西側に南北に細長く伸びる調査区で、平成 28 年 9 月から新規に 開始され、調査区を徐々に北側に拡げながら 2018 年度も継続して調査を行っています。

奈良・平安時代では、竪穴住居と掘立柱建物、焼土と炭化物を埋納した墓壙と考えられる土 坑群が検出されました。H4号住居は焼失住居と考えられ、床面直上から多くの遺物が出土して います。遺構の時期は概ね8世紀初頭から9世紀と比定されます。

縄文時代では、後期前半の配石群と敷石住居が多数重なり合って検出されました。その他、 列石を持つ中期後半の竪穴住居も確認されています。

旧石器時代は、2枚の文化層を検出しています。第一面(L1H層)では、槍先形尖頭器の製作遺跡と考えられる遺物集中が、その約50cm下層に広がる第二面(B1層)では、ナイフ形石器、剥片等のブロックと小規模な礫群が検出されています。



立石を伴うJ15 号竪穴住居(南西から)



J18 号竪穴住居跡(西から)



J6 号環礫方形配石遺構 (西から)



旧石器時代 L1H 層遺物出土状況 (西から)